

石黒先生との思い出

ダイキン工業株式会社 峯野 義博 現取締役

石黒先生と初めてお目にかかったのは、ニューヨーク駐在時代もう30年以上前のことになる。当時私は30代半ばで、先生は50代初めで非常にエネルギッシュにお話される方という印象を今でも思い出す。いつも女性スタッフとミューヨークを尋ねられ其のたびにお会いした。毎回違うレストランをご用意し、楽しくお話をさせていただいた。

先生は今では当たりまえになったグリーンビルディングのお話や環境問題のお話をされ非常に新鮮に感じたことを覚えている。当時私は、アメリカ市場への進出の検討をしており、先生の知見をお聞きし、人脈をご紹介いただいた。また、生物好きの私は、生き物の習性や形態をビジネスに例えて面白い話を考えて毎回先生との会話を盛り上げようと知恵を絞ったのを記憶している。

私にとってニューヨーク時代は、いろいろな方との出会い、アメリカのダイナミズムを肌で感じ、妻と3人の娘との絆を深めた特別の地である。その中でも先生は、私のニューヨークの思い出として、非常にいろいろな角度での物の見方や考え方を教えていただいた方として強烈に刷り込まれている。13年間の駐在を終え、日本に帰国後も度々お会いしたが、私の中では先生の存在は、ニューヨークとともにある。

先生も若い時代ニューヨークの設計事務所で働かれ、生活された経験をお持ちである。きっと先生にとってもニューヨークは特別な地なのだと感じている。二人にとってニューヨークを通じてお互いの考えや生き方を語り合えることで、日本では感じられない自由さ、ダイバシティとダイナミズムを共有しあえていたのだと思う。

あれから30年、先生はPESが50周年を迎え、私はまだダイキンでグローバルビジネスに携わっている。アメリカでは、いま7千億円を超える売上と8000人の人が働いている。しかし、当時のユニークな発想や自由さが何物にも代え難く、感謝と共に寄稿させていただいた。

石黒先生50周年おめでとうございます。



ダイキン本社でのレアー氏のレクチャー